

科目名	政治学 (国際政治を含む) B		科目 コード	G52015	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
						30時間				
区分	一般教育科目	選択必修	担当者名	西東 克介				授業 形態	講義	単独
授業の 概要	<p>〔キーワード：人権〕政治学Bは、政治学Aを基礎編とすれば応用編とも言える。民主主義体制の国では、日本国憲法第12条に示されているように、国民の「不断的努力によって」自由及び権利を保持するのである。怠けては保持されないことがあるかもしれない。どの国にも差別の問題が存在するが、その改善には長い長い年月がかかっている。我が国の平和も日本人やアジア人の多くの命が奪われた結果の後の努力により維持されているものである。私たちが努力していく方向を探るために、前期で学んだ基礎的知識を下に、さらに具体的に考察できる知識を学んでいきたい。</p>									
到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・完全な答えはないが、未来を切り開く自分や周囲の「ミッション」と活動とは何かを考えていく。 ・受講者には、この「答え」をああでもない、こうでもないと考え続けていくことができればと思う。 									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 (授 業 時 間 外 の 学 修 を 含 む)						備 考	
第1回	本講義・展開方法・試験等について		さらに、出欠、感想文とレポートの違いについての確認。							
第2回	黒人差別の歴史的展開		米国黒人差別の歴史を植民地時代から19-20世紀までの概説する。							
第3回	公民権運動の動画鑑賞(1)		1950年代から1960年代までの公民権運動を撮影したものを再編集した動画の鑑賞。							
第4回	公民権運動の動画鑑賞(2)		前回の続き						次週までに黒人差別問題について感想文を受講者に書かせる。	
第5回	M. ウェーバーの政治家としての資質		M. ウェーバーの述べた政治家の資質は、政治の独特の問題への対応を除けば、あらゆる組織のリーダーにとって不可欠なものである。受講者にとって多少難解な点もあるが、リーダーはリーダーの周囲との人間関係において成長し、周囲の人間もこれにより成長していく。良き方向に進むのか、悪い方向に進むのか。このことをリーダーと周囲の人間は、常に配慮する必要がある。							
第6回	議院内閣制・大統領制とリーダーシップ		議院内閣制と大統領制の分析とリーダーシップの関係について考察する。							
第7回	圧力団体・公益法人・NPO		圧力団体・公益法人・NPOを概説し、メリット・デメリットを分析する。							
第8回	文民統制・自衛権・集団安全保障		民主主義国家における文民統制の理解、日本国憲法第9条と個別的自衛権・集団的自衛権、双方の自衛権と国連の集団安全保障概念を理解する。							
第9回	日本の政策過程		日本の政策過程について、1955以来形成されてきたパターンを分析・解説する。							
第10回	NGOとNPOのミッション		(NGOを含む) NPOの企業や行政とは異なる特徴は何か、また、そのミッションとは何か。これらを中心に考察する。							
第11回	NGOとNPOの機能と構造パターン		(NGOを含む) NPOの機能と構造パターンから、そのメリット・デメリットを考察していく。							
第12回	行政学史(1)		現代行政学は米国で生まれた。その発生の原因と新しい学問に影響を与えた学問の基本的知識の理解。							
第13回	行政学史(2)		現代行政学のパラダイムは「政治と行政の分離」である。だが、このパラダイムは批判されるが、行政学はこれにより徐々に発展していく。正統派行政学についての理解を求める。							
第14回	行政学史(3)		バーナードとサイモンが行政学に与えた基本的な学説の理解。							
第15回	社会科学と政策科学(公共政策論)		社会科学と政策科学の違いと共通点に関する理解。							
評価 方法 及び 評価 基準	レポート1回(50%)と試験1回(50%) 文章の構成と論理性を中心に評価する。									
教材 教科書 参考書	教科書：橋爪大三郎著『政治の教室』講談社学術文庫、840円。 レポート課題図書兼教科書：土岐寛編著『行政と地方自治の現在』北樹出版、2300円。									
留意点										